

一枚の写真から

柳津町立柳津小学校 五年 二瓶 真桜

昔のことを、私の曾祖母に聞きました。この写真は家の前にある小屋のところで撮ったものだそうです。写っているのは私の祖母を抱く曾祖父です。その頃はヤギとメンヨウを飼っていて、ヤギはミルクが出るようにメストオスがいました。出たのはおばあちゃんにだいたい飲んでいただけで、近所の人から欲しいって言われた時はあげることがありました。メンヨウは、毛をとるためです。

今は物置になっている玄関の横の部屋には馬も一頭いて農作業をしたり荷物を運んでいました。馬の顔から頭にかけてつけたひもを、ひいおばあちゃんがひいて、後ろでひいおじいちゃんが馬耕で田んぼをうったそうです。でもその後、耕うん機が来てからは馬はいらなくなりました。その代わりに



曾祖父 大正十五年九月二十五日生まれ
曾祖母 昭和五年十一月二十日生まれ
祖母 昭和二十八年四月二十九日生まれ

牛を飼うことにしたのですが、代々家は牛をあつかえないことになっていたので、神主さんにおはらいしてもらい飼うことにしたそうです。牛は育てて売ったり、子どもを産ませて大きくして売っていたそうです。

ひいおじいちゃんが着ているのは木綿じまのシャツと山ばかまで、ひいおばあちゃんが作った服です。シャツは一センチくらいの白じまで山ばかまは茶じまだそうです。ひいおばあちゃんが作った服は最近までとってあったそうですが、欲しいという人がいてあげたということでした。

写真の裏には「昭和二十八年」と書いてありました。今から六十三年前です。私は、一枚の写真からこんなに昔のことがわかるのがすごいと思いました。

取材ノート

曾祖母：二瓶 ミイ子さん (昭和五年生 八十六歳)
ひ孫：二瓶 真桜さん (平成十七年生 十二歳) (柳津小六年)
曾祖父：二瓶 直一さん (大正十五年生 九十歳)

Q：この写真は、いつ頃撮られたものでしょうか？

ミイ子さん：昭和二十八年、ミチコが生まれて間もなくだと思います。四月に生まれたから、五月頃だったかな。

Q：真桜さん、ヤギとメンヨウ知っていましたか？

真桜さん：？？？なんとなく？
直一さん：メンヨウは毛刈りしていたの。

ミイ子さん：近所の人に頼まれて、「刈ってくる」なんてな。

Q：どうして頼まれたのですか？

ミイ子さん：みんなハサミ持って無いし、刈り方出来ないから。

Q：そのハサミ、どこで買ったのですか？

直一さん：宮下の鍛冶屋。西郷カンジャ(鍛冶屋)。糸屋の向いあたりにあった。

Q：ヤギは何匹いたのですか？

直一さん：ヤギはメス一匹だ。メンヨウは三匹だったかな。

Q：ヤギの乳は、ミイ子さんが飲んでいました？

ミイ子さん：お産した後は栄養摂んなねえ、って私は毎日飲んでいました。家族みんな飲んでいました。

直一さん：品種のいいヤギでな、朝晩たくさん搾った。ハンゴウに搾っていて一升ぐらいだったな。ヤギがおとなしくしているんですよ、慣れてつから。

Q：ヤギのエサは？

直一さん：草か？田んぼで紫の花咲くレンゲ草、クローバーとかは春先だけ。あとは、野生のカラムシを喜んで食べた。アカソも好きだったな。

Q：馬も飼っていたそうですね。

直一さん：それが軍馬に徴集されたの。昭和十七年頃か、父親が馬を高田まで送って行ったんだが、「別れる時、泣けた。」って帰って来た。

Q：馬耕から耕運機になったのは、いつ頃ですか？

直一さん：昭和二十八年頃か、父親が馬を高田まで送って行ったんだが、「別れる時、泣けた。」って帰って来た。

Q：馬耕から耕運機になったのは、いつ頃ですか？

直一さん：昭和二十八年頃か、父親が馬を高田まで送って行ったんだが、「別れる時、泣けた。」って帰って来た。

ミイ子さん：じいちゃんが四十三歳の時だったかな。耕運機は、メリーテラーって、ちっちゃいのな。宮下にあったサトウモーターっていう農機具屋さんで買った。

Q：眼鏡かけている直一さん、カッコイイですね。若い頃、モテたでしょうね。

直一さん：さっぱりだめでした…。

Q：真桜さん、ひいおばあちゃん達から話を聞いてどうでした？

真桜さん：知らない事がたくさんありました。

写真・文責：菅 敬浩

奥会津の植物

〈ヤマユリ〉

写真・文：新国 勇



山中で、ぼったり巨大な花に出会うと、山の女王に巡り合ったような感動がある。花の大きさでは、草本の中でトップクラス。おしべに服が触れると、花粉がべったりついてとれなくなるので、子供のころよくしかられた。



野山で遊ぶ

（朴^{ホト}の葉のお面）

子どもの顔より大きな朴の葉は、一瞬でお面に早変わり。目の部分を抜き取って、小枝や割り箸を刺して口に銜えると、山の天狗になった気分。樹皮が剥けやすいこの時期は、大きな風車にして風を感じることができる。

只見川の川霧

朝晩川面を覆う厚い霧。
水は姿を隠して、蛇行する霧の川が現出する。



奥会津の生き物 〈ブッポウソウ〉

写真・文：新国 勇



ブッポウソウと鳴くのはコノハズク。しかしその鳴き声の主を本種と勘違いして命名された。そのためブッポウソウのことを「姿のブッポウソウ」、コノハズクを「声のブッポウソウ」と呼ぶ。奥会津ではモンツキガラスといい、暗い林内を飛ぶ姿は、翼に白い紋をつけたガラスのよう。それが木の梢に止まると、太陽光で緑色に輝く。

奥会津の食材と料理

ズッキーニの漬物



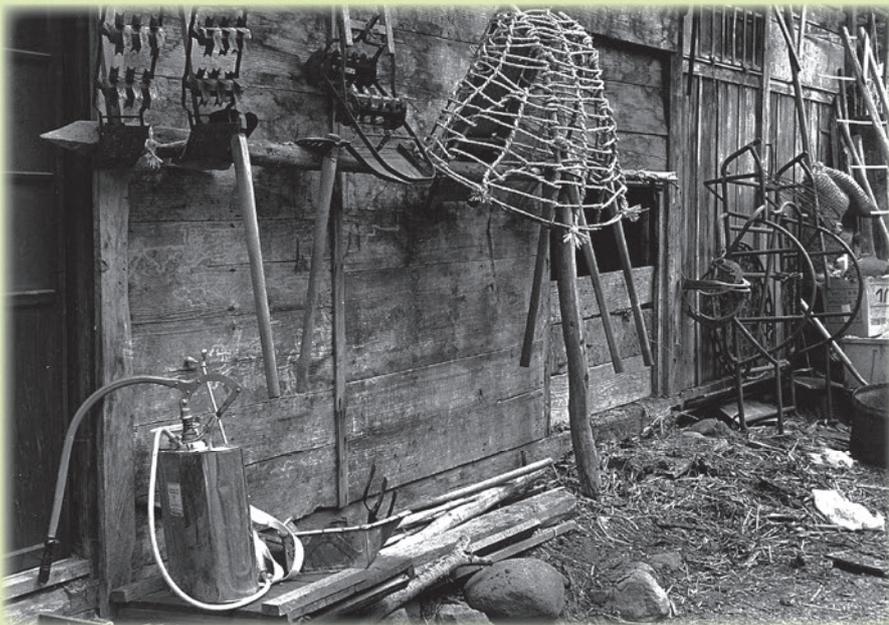
ズッキーニを薄切りにして、スプーン一杯ほどのジャガイモの漬け床をまぶして1時間ほどで食卓へ。オリーブオイルを垂らすとひと味違った味覚が楽しめる。キュウリやタマネギなど野菜が豊富なこの時期は、サラダ感覚で食べられる薄味の手軽な漬物が食欲をそそる。

暮らしの道具

写真・文 竹島善一

田の草取りに使う、ころがしが三台。そこに鍬が二柱架けてある。
ソラックチ(空口?)と呼ばれる編み組の道具は、これに肥料を入れて田畑へ運ぶのに使われる。
車輪を外されたリヤカーのフレームが、人の背からリヤカーへ、そして軽トラックへとの変遷を語っている。
手動式の噴霧器も、間もなく動力式に代わるだろう。
箕があり、芋洗い棒があり、三ツ岐のフォークが見える。
民俗学的な博物館の展示ではなく、生きた資料の軒下に、場を得て置かれている。

(昭和五十二年五月 金山町玉梨)



Q方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう？

「カンジャ」 ヒント：P2、「聞き書き百選」をご参照下さい。

正解者の中から抽選で2名様に、昭和村の「からむし織花瓶敷」をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511
福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979
奥会津書房 宛

●応募締切：2017年8月20日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。 ※クイズの答えは次号100号で発表いたします。



◎98号「めげえ」の答え：かわいい
たくさんのご応募ありがとうございました!

読者コーナー

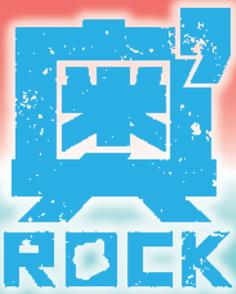


- 沢山のパンフレットの中から「奥会津だより」に手が伸びました。表紙の写真が今にも動き出しそうで、ウドがとても力強く感じました。(白河市：H.Hさん)
- 「奥会津の生き物」の写真にいつも感心しています。どれだけの時間、動物たちと向き合われているのかと、語りつくせぬ思いがあるだろうと察します。(南会津町：B.Jさん)
- 何気なく手に取った貴紙を読み始めて、表紙の鮮やかな写真と詩のようなていねいな文章に心打たれました。気負いがなく愛情を感じる簡潔な文章は何度読み返しても味があります。会津がとても好きになりました。(栃木県下野市：T.Yさん)
- クルミの枝の塩入れは、底がどうなっているのか以前から疑問でした。昔ながらの知恵や文化を私たちの世代はどれ程語り伝えていくのだろうか…。(南会津町：S.Hさん)
- コンパクトな紙面に内容がぎっしりですね。聞き書き百選の記事と取材ノートに心打たれました。(千葉県柏市：T.Sさん)

奥会津だより
定期購読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局
TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575
E-mail: webmaster@okuaizu.net



奥会津ロックフェスティバル 2017

日時：8月26日(土) ※11時開場 19時終了(予定)
場所：柳津町の道の駅

みなさん奮って
ご参加ください。

昨年、美坂高原で開催した「奥会津ロックフェスティバル」が、今年は柳津町の道の駅で開催されます。

同時開催

奥会津うまいもんフェア

奥会津イベント情報

8月~10月

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
8月5日(土)	大桃夢舞台	伊南地域	大桃の舞台	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
8月5日(土)~6日(日)	第41回沼沢湖水まつり	金山町	金山町 沼沢湖畔	金山町観光物産協会 ☎0241-42-7211
	第25回真夏の雪まつり	檜枝岐村	尾瀬檜枝岐温泉スキー場	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
8月10日(木)	霊まつり大法要、稚児行列、流灯花火大会	柳津町	大法要、稚児行列：福満虚空蔵菩薩園蔵寺 流灯花火大会：道の駅会津柳津裏只見川沿い	霊まつり流灯花火大会実行委員会 ☎0241-42-2346
8月18日(金)	鎮守神祭奉納歌舞伎	檜枝岐村	檜枝岐の舞台	
8月26日(土)~27日(日)	フィールアースin檜枝岐	檜枝岐村		尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
8月26日(土)~27日(日) 8月29日(火)~30日(水)	檜枝岐大自然満喫ツアー	檜枝岐村		
9月1日(金)	伊南川刺し網解禁	伊南地域	伊南川	南会津西部非出資漁業協同組合 ☎0241-72-2110
9月2日(土)	福島応援復興おんもしえ祭	柳津町	道の駅「会津柳津」	柳津事務局 ☎090-3127-9057
	南郷豊年まつり	南郷地域	南郷グラウンド	南会津町商工会南郷支所 ☎0241-72-2041
	第33回歌舞伎の夕べ	檜枝岐村	檜枝岐の舞台	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
9月3日(日)	只見駅前通りウキウキわいわいフェスタ	只見町	只見駅前通り	只見駅前通りウキウキわいわいフェスタ実行委員会(只見振興センター内) ☎0241-82-2141
	南会津そばウォーク	館岩地域	会津高原たかつえスキー場	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
9月5日(火)	山入歌舞伎	金山町	芸能伝承館	金山町教育係 ☎0241-54-5360
9月9日(土)~10日(日)	古町のまつり	伊南地域	古町通り	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
9月16日(土)~17日(日)	Showa Fan Ride 2017	昭和村	昭和村内	昭和村観光協会 ☎0241-57-3700
9月17日(日)	水曜どうでしょうキャラバン2017	只見町	只見町 町下広場	只見町観光商工課(月~金8:30~17:15、土日祝日除く) ☎0241-82-5240
9月23日(土)~ 10月9日(月・祝)	山人秋まつり	檜枝岐村	檜枝岐村内(旅館・民宿)	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
9月30日(土)	九月堂おこもり	柳津町	福満虚空蔵菩薩園蔵寺	柳津観光協会 ☎0241-42-2346
9月30日(土)~ 10月1日(日)	伊南武道館少年剣道大会	伊南地域	伊南武道館・伊南地域交流センター	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
	さいたま市南会津町親善ソーデーマーチ 自然首都・只見水の郷うまいもんまつり	館岩地域	館岩地域	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
10月1日(日)	第6回自然首都只見トリムウォーク&トリムラン 八十里越交流体感バス	只見町	只見駅前広場	只見水の郷うまいもんまつり実行委員会(只見町商工会内) ☎0241-82-2380



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)
発行日：7月18日発行(年6回発行)事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525
http://www.okuaizu.net ✉ webmaster@okuaizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580
★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。